

ごみ処理等により 歳出が増加

平成28年度の一般会計・特別会計・企業会計の決算が市議会認定されました。当市の決算状況について、あらましをお知らせします。
■問い合わせ先 財務課（内線2382）

平成28年度 会計別歳入歳出決算

会計別	歳入(収入済額)	歳出(支出済額)		
一般会計	229億3,372万円	221億2,678万円		
特別会計	国民健康保険	87億8,250万円	83億3,656万円	
	介護保険	46億4,758万円	44億7,080万円	
	簡易水道事業	869万円	633万円	
	下水道事業	22億8,089万円	21億1,684万円	
	羽島市・羽島郡二町介護認定審査会事業	2,235万円	2,235万円	
	インター北土地区画整理事業	1億1,643万円	9,167万円	
	駅北本郷土地区画整理事業	1億9,766万円	1億2,158万円	
	後期高齢者医療	6億7,609万円	6億5,796万円	
	企業会計	病院事業	61億9,375万円	62億9,444万円
		収益的収支	2億823万円	3億3,390万円
資本的収支		7億6,857万円	5億4,107万円	
上水道事業		4,877万円	6億1,703万円	

一般会計

歳入

歳入全体の決算額は229億3372万円、前年度と比べて10億1182万円、4.6%増加しました。
歳入には、地方公共団体が自主的に収入することができ、市税や手数料などの自主財源と、国や県から交付される依存財源があります。自主財源が多いほど、行政活動の自主性と安定性を確保できます。
28年度の歳入決算額は、前年度の自主財源の割合は、前年度より0.4ポイント低い49.9%となりました。これは、依存財源である市債の増加や自主財源である繰越金の減少によるものです。

歳出

歳出の決算額は221億678万円、前年度と比べて7億8524万円、3.7%の増加となりました。
内訳を見ると、保健医療や福祉等の民生費が最も比率が高く(35.4%)、前年度より2億3111万円の増加です。次いで教育費が14.3%、衛生費が14.1%を占めています。教育費の主な増加要因は、北部学校給食センターの建設費用です。衛生費の主な増加は、燃やせるごみの市外処理に伴う費用増や病院事業への繰越金によるものです。
一方、借金の返済額である公債費は、前年度と比べて2972万円減少しています。

市民1人当たりの負担状況

市民1人当たりの市税の負担は12万9931円で、前年度と比べて2999円の負担増となっています。

市債の現在高状況

28年度一般会計決算での市債現在高(借金の残高)は、約172億円となりました。今後も、計画的に市債残高の減少に努めます。

特別会計

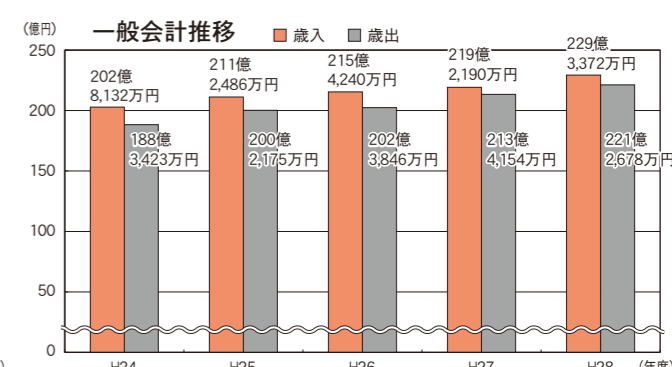
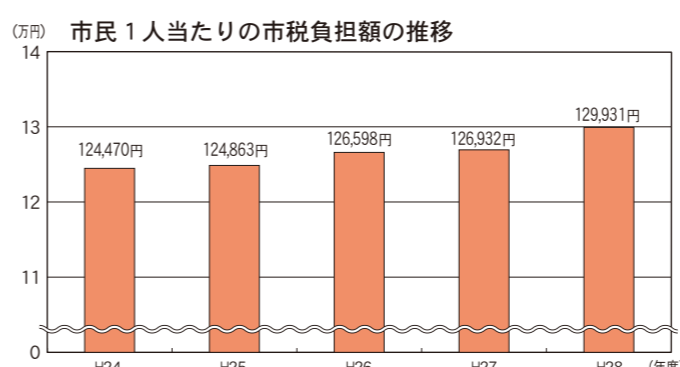
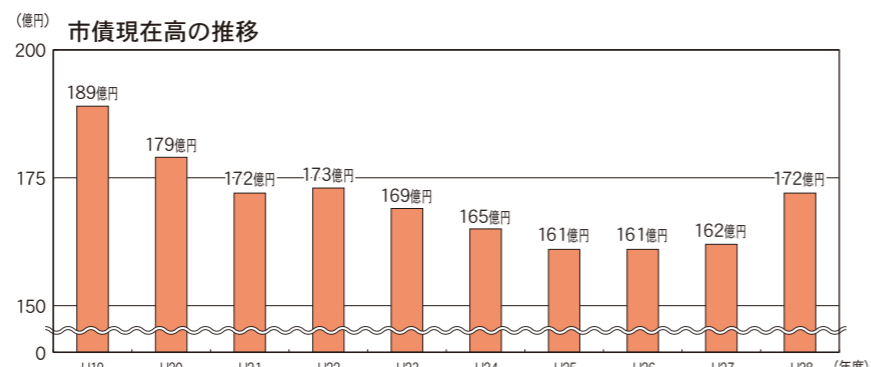
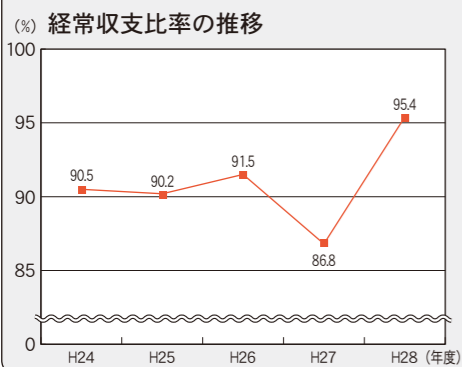
特別会計のうち、国民健康保険は、保険給付費の減などにより、歳出が前年度に比べ3億3691万円(3.9%)減少しました。一方、介護保険は、介護給付費の増などから、前年度より歳出が1億399万円(2.4%)増加しました。

企業会計

企業会計は、独立採算で運営されている事業会計を言い、病院事業と上水道事業の二つがあります。病院事業では、人件費の増加などにより、前年度より歳出が7291万円(1.1%)増となりました。

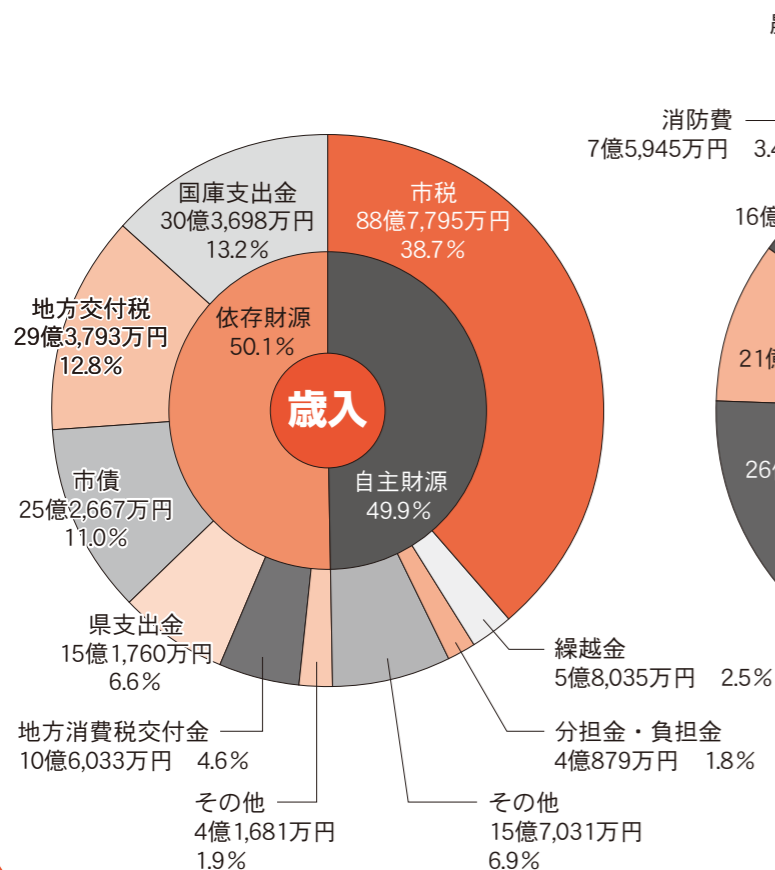
経常収支比率

経常収支比率とは、市税や地方交付税などの経常的な収入に対し、人件費や扶助費などの経常的な支出が占める割合で、財政の弾力性を示す指標です。この指標が低いほど財政の弾力性があり、自治体独自の施策に充てる財源が多くなるといえます。



平成28年度 羽島市一般会計決算

▼ 歳入 ▼
229億3,372万円



▼ 歳出 ▼
221億2,678万円

